

令和元年度 岩美町教育委員会 12月定例会 議事概要

1. 日 時 令和元年12月25日(水) 午後1時00分～午後2時54分
2. 場 所 岩美町役場 2階小会議室
3. 出席者 (委員) 戸田倫弘 小谷節子 森本昌和 小西由美
(教育長) 寺西健一
(事務局) 山田補佐 田中参事 中村主任 池口土曜授業コーディネーター

4. 概 要

(1) 教育長一般事務報告

(教育長) 一資料に基づき、前回委員会後の教育長日程等の説明一
ご質問がありますでしょうか。

(委員) 無し

(2) 議 事

①議案第12号 岩美町社会教育委員の変更について

(事務局) 一資料に基づき説明一

(教育長) ご質問がありますでしょうか。

(委員) 無し

(教育長) それでは議案第12号については採決をお願いします。

(委員) 承認

②議案第13号 岩美町公民館運営審議会委員の変更について

(事務局) 一資料に基づき説明一

(教育長) ご質問がありますでしょうか。

(委員) 無し

(教育長) それでは議案第13号については採決をお願いします。

(委員) 承認

③報告第12号 岩美町立学校教職員の人事専決処分についてです。

(事務局) 一資料に基づき説明一

(教育長) ご質問がありますでしょうか。

(委員) 無し

(3) その他

①次年度の土曜授業のあり方について

(教育長) 学校が行う土曜授業について絞ってご意見を伺いたい。

(事務局) — 資料に基づき説明(土曜授業アンケート結果) —

(教育長) 県内の土曜事業の実施状況をお願いします。

(事務局) — 資料に基づき説明 —

(教育長) 岩美町を補足すると H27 (6回実施) → H29 (5回実施)
ご質問、ご意見を伺いたい。

(委員) 若桜町、智頭町、八頭町などは土曜授業はやっていないのか。

(事務局) 教育課程内の土曜授業はない。教育課程外の土曜学習はほぼすべての他町村で実施されている。

(委員) 国の週5日制度自体に反対であった。

各家庭の経済状況などにより賛否がある。難しい問題である。

実態、「保護者・児童・先生」の意見を見れば、やめるか、実施するなら形を変えて実施する必要があると考える。

例) 自由登校で土曜事業を実施するなど。

私が校長の時は180日であり、教育課程を実施するために必要な日数を確保するため、それを210日まで引き上げた。

(教育長) 確かに現在も臨時休校等を勘案して、210日前後を目指して日程調整に取り組んでいる。

授業時間の確保のため、今は水曜日の職員会も6校時後にしている。

(委員) 1年で考えると6:4で課業日:休みである。

休みすぎではないかと考える。土曜授業を止めても、学力の保障をしなければならぬ。

(事務局) — 資料に基づき説明(学校の課業日) —

(委員) 全体365日から見れば休みが多いと感じる。

(委員) 土曜授業は欠席扱いになるのか。

スポーツ大会等での欠席などはどうなるのか。

(教育長) 欠席扱いとして取扱っている。

(委員) 土曜日が休みの保護者だけでもないので、難しい問題である。

いずれにしても教員の士気を高めることが必要。働き方改革の問題もあるため難しい問題である。

(委員) 教員の士気が上がってないのは問題。生活のリズムが崩れるのは休日の過ごし方にあるのではと思ったりもする。先生方の負担もあるが実施を考えてはどうかと思う。

(教育長) 導入当初の平成26年と現在では、社会の環境も変わってきている。

・教員の働き方改革が社会で大きく言われるようになってきたこと。

- ・小学校にエアコンが整備されたこと。
- ・放課後児童クラブに小6まで預けることが可能となったこと。
- ・スマホ・ゲームをほぼ所持していること。

青少協でも当初は持たせるべきではないという意見から、社会情勢により、どう付き合っていくかという方針になっていった。

- ・子供たちの体力低下。
- ・月曜日代休が定着してきていること。

町議会でも一般質問を受けたことがあり、アンケート結果により毎年判断していることを答えた経緯もある。

教育委員会ではアンケートを取りながら実施しているため、教育委員会で検討して決定していきたい。

(委員) 土曜授業の当初の狙いは学力向上であったと思う。

(教育長) 土曜日にイベントを持っていけば、平日に授業をつぶして、イベント(音楽会等)を実施しなくても良いという考え方もある。

ただ、目に見える部分で、「全国学力調査」などで成果が上がっているかという点、必ずしもそうではない。

(事務局) 先生方の意欲がない中で、学校経営をされている校長先生方の意見も聞いていただけたらと思う。残念ながら土曜授業は負担感として学校の先生方に取られてしまった。

どうしたら先生がやる気をもってくれるのかも考えないといけない。

(教育長) 意見がまとまらないので、次年度についての結論は次回1月に先延ばしさせて頂きます。今回は結論を出すという事で、今日はここまでとさせていただきます。

②教育委員県外視察について

(教育長) 大分の県外視察についての感想を頂けたらと思います。

(委員) 全国学力調査で日出はトップという事を知らなかったが、前々から日出中学校のあいさつ運動が活発であるという事を知っていた。学校全体の雰囲気も明るく、地域の中での中学校の役割など、学ぶことができた。

大分も教育県であり、日常の教育活動内容で学ぶことが多かった。

(委員) 大西さんという地域の方に、案内をして頂いた。地域の支えが素晴らしかった。日出中を支えておられる地域の感じが大変良かった。

職員室の前に机が並べてあり、職員室に入らなくても先生に声を掛けやすいなど、良い工夫だと思った。

昔ながらの日記も良かった。岩美中にはまだ日記はありますか。

(事務局) 現在、岩美中はフォーサイト手帳を使い、日々の記録をしている。スケジュール帳に近いものです。日記のような記述は少しだけだと思う。

(委員) 日出中は生徒数が多かったが、落ち着いており、本当に生徒が700人いるのかなと思うくらい静かであった。建物も新しくはなかったが、整然と片付いていて素晴らしかった。

(委員) 下足を見たら学校の雰囲気が大体わかると思っている。

かかとを踏んでいる生徒は1人くらいで、落ち着いている学校と感じた。

小谷委員も発言されたが、職員室前の机が良い考えだと思った。

学校から見える景色も素晴らしかった。

(教育長) 印象的だったのは、地域の大西さんの生徒にかける愛情が素晴らしかったこと。

地域の日、地域の支えは改めて大切だと感じた。

地域に認められている学校というのはやはり強いと感じた。

○次回委員会の日程調整

次回1月定例教育委員会の日程は1月23日(木) 13:00～

以上で、12月の定例教育委員会を終わります。

(14:54終了)